

県立学校事務処理規程の一部を改正する訓令を次のように定める。

令和2年3月27日

岩手県教育委員会

教育長 佐藤 博

県立学校事務処理規程の一部を改正する訓令

県立学校事務処理規程（昭和44年岩手県教育委員会訓令第9号）の一部を次のように改正する。

改正前	改正後
<p>(校長の専決事項)</p> <p>第4条 県立学校の所掌に係る事務に関し校長の専決できる事項は、次のとおりとする。</p> <p>(1)・(2) [略]</p> <p>(3) <u>非常勤職員の育児休業の承認に関すること。</u></p> <p>(4) <u>給料表の適用を受けない臨時的任用職員の任免に関すること。</u></p> <p>(5) [略]</p> <p>(6) [略]</p> <p>(副校長の専決事項)</p> <p>第5条 校長の処理すべき事項に関し、副校長の専決できる事項は、次のとおりとする。</p> <p>(1)～(4) [略]</p> <p>(5) 教育職員の特殊勤務手当の支給に関すること。</p> <p>(6)～(14) [略]</p> <p>(事務長の専決事項)</p> <p>第6条 校長の処理すべき事項に関し、事務長の専決できる事項は、次のとおりとする。</p> <p>(1)～(10) [略]</p> <p>(11) 職員の通勤の実情の<u>確認及び通勤手当の月額</u>の決定又は改定に関すること。</p> <p>(12)～(22) [略]</p> <p>(23) <u>報酬、共済費、賃金</u>、報償費、光熱水費、電信電話料金、使用料及び賃借料（土地及び建物の賃貸借契約に係るものに限る。）、負担金、補助及び交付金並びに公課費に係る支出負担行為をすること。</p> <p>(24)～(27) [略]</p>	<p>(校長の専決事項)</p> <p>第4条 県立学校の所掌に係る事務に関し校長の専決できる事項は、次のとおりとする。</p> <p>(1)・(2) [略]</p> <p>(3) <u>会計年度任用職員の育児休業の承認に関すること。</u></p> <p>(4) [略]</p> <p>(5) [略]</p> <p>(副校長の専決事項)</p> <p>第5条 校長の処理すべき事項に関し、副校長の専決できる事項は、次のとおりとする。</p> <p>(1)～(4) [略]</p> <p>(5) 教育職員の特殊勤務手当<u>及び特殊勤務手当に相当する報酬</u>の支給に関すること。</p> <p>(6)～(14) [略]</p> <p>(事務長の専決事項)</p> <p>第6条 校長の処理すべき事項に関し、事務長の専決できる事項は、次のとおりとする。</p> <p>(1)～(10) [略]</p> <p>(11) 職員の通勤の実情の<u>確認並びに通勤手当及び通勤に係る費用弁償の額</u>の決定又は改定に関すること。</p> <p>(12)～(22) [略]</p> <p>(23) <u>共済費、報償費、通勤に係る費用弁償</u>、光熱水費、電信電話料金、使用料及び賃借料（土地及び建物の賃貸借契約に係るものに限る。）、負担金、補助及び交付金並びに公課費に係る支出負担行為をすること。</p> <p>(24)～(27) [略]</p>
<p>備考 改正部分は、下線の部分である。</p>	

附 則

この訓令は、令和2年4月1日から施行する。